現代インドネシアの霊性

西ジャワ・ムスリム村落の相克する儀礼と人々の語りを事例に

荒木亮（宗教情報センター／東京都立大学）

本発表は、憑霊にまつわる相克的な２つの儀礼と、それに対する村人の語りを手がかりとして、現代インドネシアにおける霊性（スピリチュアリティ）のあり方を描き出すにあたっての課題と方途を検討するものである。

ヒンドゥー・仏教的な文化やアニミズム的な土着の信仰が社会に根付いていたという歴史的背景から、インドネシアの宗教文化には、イスラーム化の後も精霊崇拝や呪術が残存し、また実践されるイスラーム自体もイスラームと伝統的な慣習との混淆が見られた。しなしながら、より「真正の」イスラームを希求する「イスラーム復興」と呼ばれる現象がインドネシアでは大凡 1980 年頃より都市中間層を中心に顕在化したことで、ムスリムの民間信仰を問題視し、また「混淆的なイスラーム」からこうした慣習を取り除いてイスラームを純粋化する運動が展開した。その結果、イスラームの神とは異なる超越的な存在と関係を取り結ぼうとする行為や慣習が衰退しつつある、という認識が現代インドネシアの宗教をめぐる主流のパラダイムとなってきた。

ただしこうした動向をインドネシア全体に共通する現象として捉えるべきではないようにも思える。というのも、発表者の調査地である西ジャワ地域の都市近郊に位置するスンダ人・ムスリムの村落（K 村）では、下記のような憑霊にまつわる儀礼が近年、年を重ねるごとにますます盛んに行われているからだ［荒木 2022］。

まず一つには、クダ・ルンピン（〔kuda lumping〕なお地域によってはクダ・ケパンやジャティラン）と呼ばれる憑依儀礼であり、青年団を中心に毎年独立記念日を祝う祭として村で執り行われている。クダ・ルンピンとは、参加者が竹で編まれた馬（クダ）のレプリカに跨り騎馬戦を表現する踊りないしは儀礼であり、ジャワ島を中心に東南アジア島嶼部で散見される民間信仰と言える。儀礼の最中に踊り子に霊が憑くことから、先述したようにイスラームの観点から否定的に捉える意見がこの村内（外）にあるものの、こうした伝統文化や儀礼はポスト・スハルト期と呼ばれる昨今のインドネシアにおいて自民族の文化的アイデンティティを表現する伝統や慣習と捉えられ復興や再興の対象となってもいる。

その一方で、村内では憑霊にまつわる儀礼として、イスラーム指導者によって執り行われる、ルキヤ〔ruqyah〕と呼ばれる除霊儀礼も見られる。ルキヤとは、大まかに言うならば、ジンやサタンなどの悪い霊に憑かれることで生活に支障をきたす状態にある者、または心身に不調を感じている者に対しクルアーンの朗誦や祈祷などを用いて霊を祓う行為である。

さて、この２つの憑霊にまつわる儀礼は、基本的に両立し得ないものと認識されている。というのも、村内に住むイスラーム指導者の話によると「ルキアを通じて祓うジンやサタンといった悪い霊が人々に憑く原因のひとつには、クダ・ルンピンといった憑依儀礼への参加が挙げられる」からだ。したがって調査村では、ひとまず憑依儀礼と除霊儀礼という相反する儀礼がいわば相克的に併存する状況にある。加えて、近年のルキヤは、インドネシアに元来あったスーフィーズム的な伝統ないしは信仰がイスラーム復興の影響下で「サラフィー的な志向」を有しつつ顕在化してきたものという指摘もある［e.g. Daniels 2019（2009）; 嶋田 2018］。

こうして見ると、K 村における憑依儀礼と除霊儀礼の相克は、霊的現象をめぐる伝統的で文化的な認識とイスラーム的な認識とが、それぞれ文化復興と宗教復興によって客体化され純化された結果と捉えられよう。

ただし村の若者が「クダ・ルンピンに参加し伝統文化を楽しむが、同時に必要に応じてルキヤを受ける者もいる」と語るように、「正しい」イスラームの理解からすると許容されないような民間信仰とイスラームの併存を可能とする言動も村内には見られる。すなわち相克的な霊的現象を二者択一として選択的に認識しているというよりは、ともすると憑依儀礼と除霊儀礼を併用する日常を生きており、その意味で人々の霊性をめぐる議論が現地では複雑に展開しているように思える。

以上のことから本発表では、発表者の調査事例に基づき憑霊をめぐる現地の実情について報告する。そのうえで、先行研究上の議論と村人の語りの分析を通じて現地の人々が認識する霊性（スピリチュアリティ）の今日的な状況を描き出すための視点と論点の提示を試みる。

※本発表は科学研究費補助金（23K18736）の研究成果の一部である。

参照文献：

・荒木亮 2022 『現代インドネシアのイスラーム復興――都市と村落における宗教文化の混成性』弘文堂。
・嶋田弘之 2017 『インドネシアの「預言者の医学」――神の癒しを媒介する技術』博士論文・東京大学人文社会系研究科基礎文化研究専攻。
・Daniels, Timothy 2019（2009） *Islamic Spectrum in Java*. London and New York: Routledge.

キーワード　インドネシア、イスラーム復興、憑依儀礼、除霊儀礼、霊性